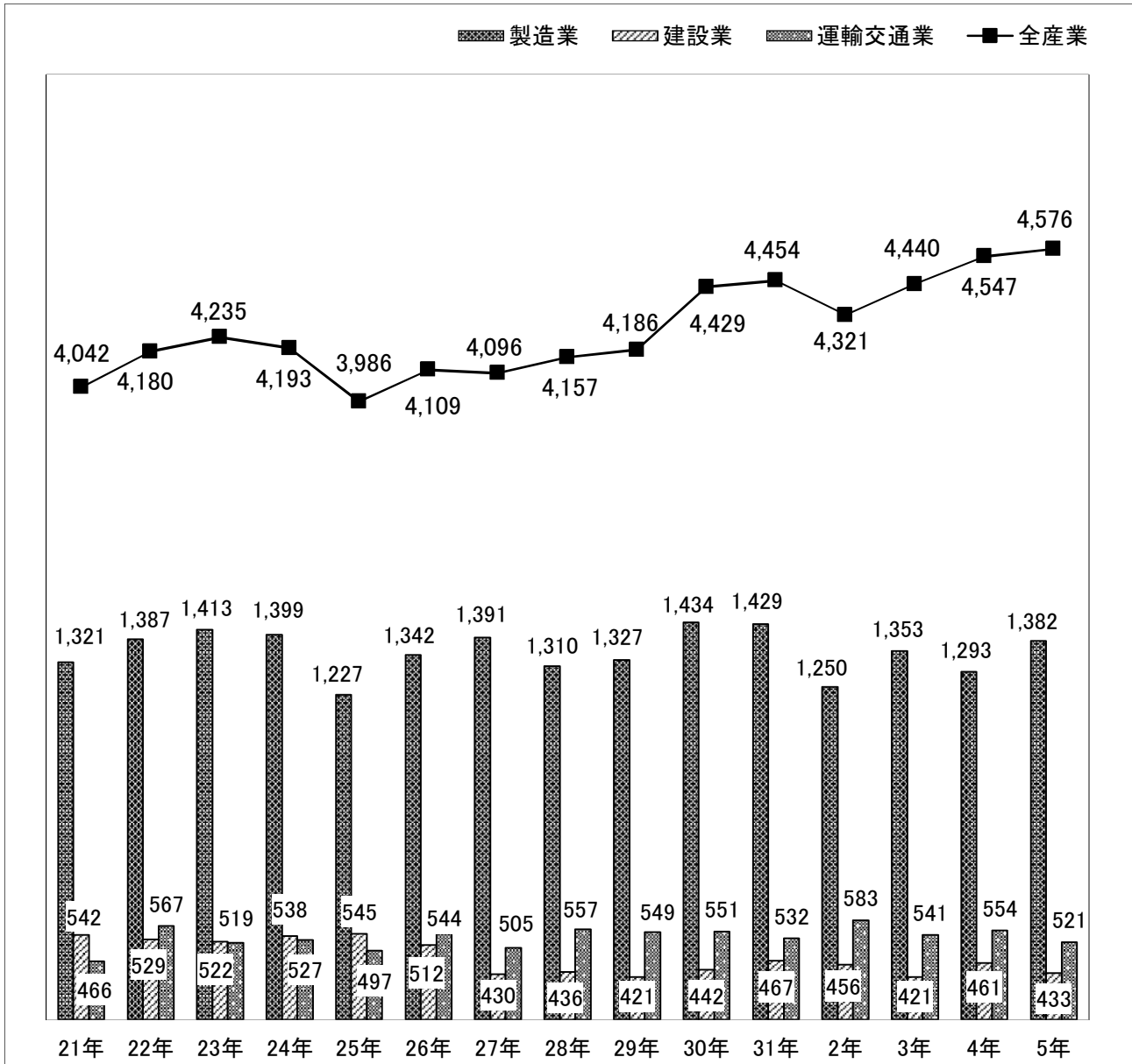


3 死傷災害(死亡および休業4日以上の災害)の現状

(1) 年別推移

令和5年の静岡県内の労働災害による死傷者数は4,576人であり、前年と比べ29人増加した。



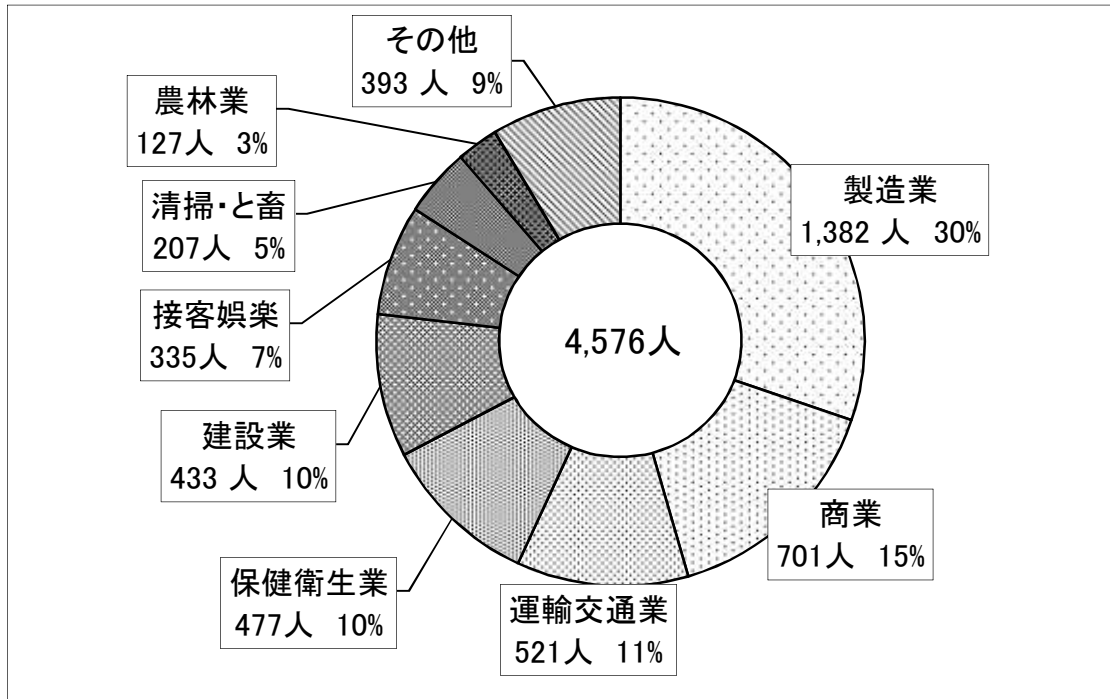
※ 資料出所:平成9年までは、労働災害統計年報リスト、平成10年以降は労働者死傷病報告による。

	60年	61年	62年	63年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
全産業	9,864	9,757	8,927	8,837	8,652	8,313	7,630	7,069	6,754	6,439	6,159	5,859
製造業	3,810	3,609	3,274	3,197	3,066	2,963	2,712	2,381	2,205	2,142	2,146	1,871
建設業	2,310	2,428	2,142	2,161	2,109	2,032	1,774	1,713	1,667	1,497	1,302	1,264
運輸交通業	697	690	650	685	684	567	576	523	498	501	458	465

	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
全産業	5,573	5,825	5,317	5,340	5,122	5,020	4,931	4,769	4,688	4,983	5,038	4,848
製造業	2,206	2,423	2,261	2,250	2,106	2,032	1,942	1,846	1,810	1,857	1,919	1,769
建設業	1,154	1,118	989	975	861	851	748	726	709	715	695	681
運輸交通業	616	606	572	635	569	565	576	547	524	564	589	586

(2) 業種別の死傷災害発生状況

業種別では、「製造業」が30%、「商業」が15%、「運輸交通業」が11%、「保健衛生業」「建設業」が10%となっている。



(3) 事故の型・起因物別の死傷災害発生状況

- ① 事故の型別では、「転倒」が26%と最も多く、次いで「墜落・転落」が15%、「動作の反動・無理な動作」「はさまれ・巻き込まれ」が14%となっている。
- ② 起因物別では、「仮設物・建築物・構築物等」が26%と最も多く、次いで「動力運搬機」が9%、「用具」が8%、「乗物」「材料」が7%となっている。

